

平和祈念展示資料館特別展示
「収容所の日々 シベリア抑留を描く Vol.4」 連携企画
シベリア抑留と戦傷病者

2016年 9月13日（火）～10月16日（日）

平和祈念展示資料館の特別展示「収容所の日々 シベリア抑留を描く Vol.4」（10/4～10/10）と連携し、当館では戦後、旧ソ連軍に抑留された経験のある戦傷病者の証言を上映します。過酷な強制労働中に負傷された方、劣悪な環境の中で結核を発症された方、鉱山労働のために何十年も経ってから「シベリア珪肺」を発症された方など、様々な体験をされた方々の証言映像をご覧ください。

プログラムA（合計約56分）10時～/14時～

タイトル	上映時間	受傷地
シベリア珪肺 ～今も続く後遺症～	約19分	チェケリ
シベリア珪肺を抱えながら	約18分	チタ
抑留中に右手を失って	約19分	ウォロシーロフ

プログラムB（合計約53分）11時～/15時～

タイトル	上映時間	受傷地
極寒と酷暑の地で	約19分	タシケント
シベリア抑留、そして結核…それを支えた妻	約16分	レッチホフカ
シベリア珪肺の苦しみ	約18分	チタ

プログラムC（合計約58分）12時～/16時～

タイトル	上映時間	受傷地
シベリア珪肺 ～今も続く後遺症～	約19分	チェケリ
熱砂の抑留生活	約21分	ベグワード
脊椎挫傷でも松葉杖で歩けるように	約18分	シベリア

プログラムD（合計約52分）13時～

タイトル	上映時間	受傷地
抑留中に右手を失って	約19分	ウォロシーロフ
失明の恐怖とシベリア抑留	約9分	千島列島新知島
憲兵から捕虜となって ～前川周三郎さんの証言～	約24分	タシケント

以降のプログラムは逐次当館ホームページ又は館内掲示にてお知らせします。
※尚、団体利用等により、上映プログラムに変更がある場合がございます。予めご了承下さい。